

# ふたし 議会だより

第 **41** 号  
2014.10.15



(わくわく園のいも掘り)

**2** 実質公債費比率が6年連続で改善

**4** 財政健全化より一層進む

定例会概要	2
決算内容	4
決算の主な質疑	6
一般質問	10
行政視察研修	14
研修会概要報告	16
キラリ美郷人	18



実質公債費比率が 10.5%

# 6年連続で改善する



25年度誕生“ミズモ”と“ルームフレグランス”

9月定例会を、9月9日から19日までの11日間の会期で開きました。審議した議案は平成25年度美郷町一般会計決算認定など20議案。その全てを、原案のとおり認定・可決しました。また、一般質問は2議員が登壇して町政をただし、陳情1件を不採択としました。

**平** 成25年度一般・特別会計決算認定を中心  
に審査した今定例会は、町の財政状況を示す4つの健全化判断比率（P4・表3参照）と簡易水道・下水道・農業集落排水特別会計の資金不足比率が報告されました。

管理による人件費の減少などが主な要因です。

**そ** の中で、実質公債費比率は10・5%となり、前年度より1・2ポイント改善されました。これは任意で実施してきた繰り上げ償還によるものが主なものです。また、経常収支比率は86・2%で、前年度より1・5ポイント改善しました。これは、公債費の減少や計画的な職員の定員

一般会計決算は、歳入123億7210万円、歳出119億4933万8千円で歳入歳出差引4億2276万2千円です。国民健康保険や下水道事業など5つの特別会計決算もすべてが黒字決算となりました。

**議** 会では、9月9日に18日に全体質疑を行い採決しました。その結果、一般会計と国民健康保険特別会計を賛成多数（賛成15人・反対2人）で、その他の4特別会計は全員賛成で認定しました。

## 26年度一般会計補正予算

# 予防医療さらに充実

**今** 定例会では、平成26年度一般会計補正予算に新たに5歳以下の水痘予防接種費用全額補助と、65歳以上の高齢者用肺炎球菌予防接種費用に対して3千円補助、合わせて979万5千円の経費を追加しました。

**当** 初予算で可決した、インフルエンザやBCGなどのワクチン接種により病気の感染拡大防止を図り、各自の健康保持や医療費の軽減

に寄与できます。**町** では早朝実施している胃がん検診や各種検診を行うことで、自らの健康に対する認識と自覚を高め、疾病の早期発見・早期治療に努めています。

**ま** た、新たにセルフケア（注）推進方針を作成し、10月から具体的な施策を進め健康長寿への取り組みを進めていきます。

**そ** のほかに、ふるさと美郷応援寄付金が140万円ありました。また、住宅リフォーム補助金240万円、マイナンバー制導入のための電算保守委託料288万円などで、歳入・歳出それぞれに1億1525万2千円を追加し、補正後の一般会計予算総額を114億4776万3千円としました。

（注）健康管理を自分自身で行うこと。



健康第一、早期健診



# 将来負担比率 9.9%に

# 財政健全化より

# 一層進む

平成25年度一般・特別会計の決算内容を図表で掲載し、町の監査委員の決算審査意見を要約して掲載します。



審査する久米代表監査委員と飛澤監査委員

## 審査意見

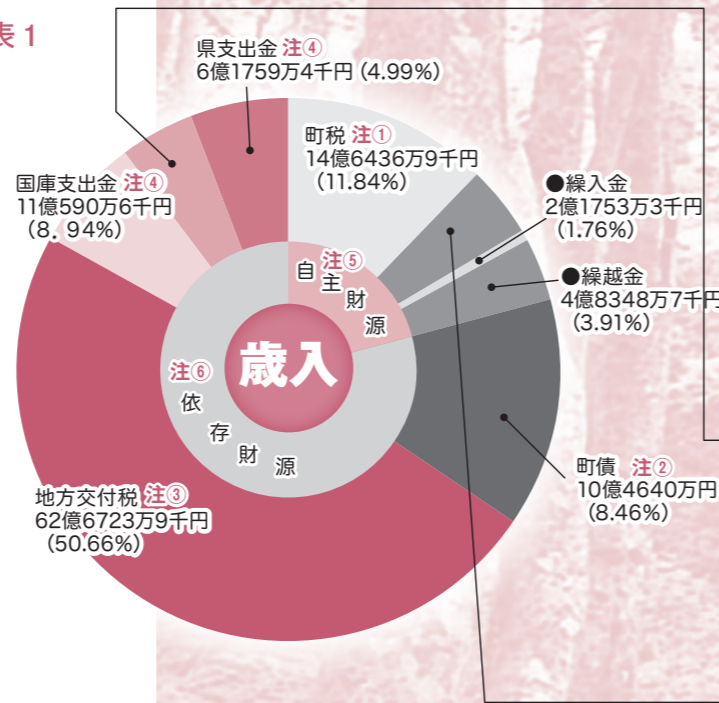
25年度財政状況の特徴的な内容は、財政健全化の取り組みとして、さらに基金の積み立てと町債の繰上償還を行ったことで、実質公債費比率が10.5%（前年比マイナス1.2ポイント）、経常収支比率は86.2%（前年比マイナス1.5ポイント）に改善しており、財政健全化に向けた取り組みが数値に反映されている。実質収支は前年度と比較すると11.63%減少しているが、歳出における積立金及び繰上償還金が増えたことによる。

なお、プライマリーバランスを考慮し、臨時財政対策債の借入れをしなかったことは、将来の財政負担を勘案すれば適切な措置である。

町の将来像を見据え一定の行政水準を維持しながら義務的経費削減の努力や、町債の繰上げ償還等の事業展開を行っており評価する。

（抜粋・要約）

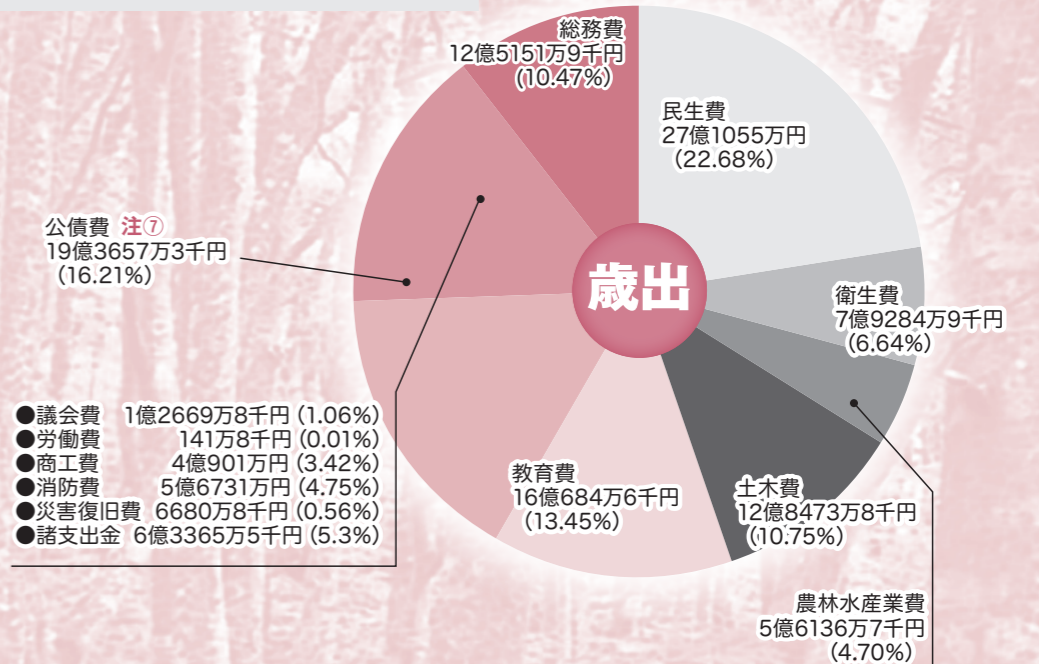
表1



- 地方譲与税 2億5328万5千円 (2.05%)
- 利子割交付金 332万9千円 (0.03%)
- 配当割交付金 367万3千円 (0.03%)
- 株式譲渡所得割交付金 409万3千円 (0.03%)
- 地方消費税交付金 1億7954万5千円 (1.45%)
- 自動車取得税交付金 5170万9千円 (0.42%)
- 地方特例交付金 541万6千円 (0.04%)
- 交通安全対策特別交付金 377万1千円 (0.03%)

- 分担金及び負担金 8492万1千円 (0.69%)
- 使用料及び手数料 1億3102万円 (1.06%)
- 財産収入 2653万3千円 (0.21%)
- 寄付金 987万円 (0.07%)
- 諸収入 4億1240万3千円 (3.33%)

## 一般会計決算



## 平成25年度 各会計の収支決算総括表

表2 単位：千円

会計名	歳入決算	歳出決算
一般会計	12,372,100	11,949,338
国民健康保険特別会計	2,740,886	2,557,618
簡易水道事業特別会計	443,392	443,295
下水道事業特別会計	186,840	182,236
農業集落排水事業特別会計	192,883	190,239
後期高齢者医療特別会計	184,034	183,746
合計	16,120,135	15,506,472

## 健全化判断比率

表3

健全化判断比率	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	早期健全化基準
①実質赤字比率(注⑧)	-	-	-	-	-	13.65%
②連結実質赤字比率(注⑨)	-	-	-	-	-	18.65%
③実質公債費比率(注⑩)	16.3%	14.2%	12.8%	11.70%	10.5%	25.0%
④将来負担比率(注⑪)	95.1%	66.6%	46.1%	37.40%	9.9%	350.0%

\*赤字（資金不足）額がないものは該当なしのため「-」を表示しています。

## 町の借金と職員人件費、預金（基金）の残高推移表

（年度末残高）単位：千円

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
町債残高	16,431,552	16,325,433	15,679,307	14,763,612	14,062,756	13,478,089	13,088,336	12,351,577
債務負担行為残高(注⑫)	1,266,316	680,369	338,127	292,065	277,902	202,792	179,463	136,998
職員人件費	2,351,542	2,251,455	2,165,974	2,075,104	2,014,488	1,973,032	1,946,614	1,905,926
基金残高	2,546,636	2,946,653	3,617,143	3,929,737	4,653,428	4,954,923	4,974,063	5,398,175

### 用語解説

- 注①町税：町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
- 注②町債：町が資金調達のために行う長期借入（借金）のこと
- 注③地方交付税：自治体ごとの税収の差をならし、どこでも一定水準以上の行政サービスを提供するため、国の税金（所得税、法人税、酒税など）の一部を地方自治体に配分するお金のこと
- 注④国庫・県支出金：特定の事業をするために、その経費に使うことを条件として、国や県から交付されるお金のこと
- 注⑤自主財源：町税や使用料・手数料など、町が独自に調達するお金のこと
- 注⑥依存財源：地方交付税や国庫・県支出金など、国や県から入ってくるお金のこと

- 注⑦公債費：地方債の元金と利子などの返済に充てる経費のこと
- 注⑧実質赤字比率：一般会計などの実質赤字の比率
- 注⑨連結実質赤字比率：全ての会計の実質赤字の比率
- 注⑩実質公債費比率：公債費及び公債費に準じた経費の比重を示す比率
- 注⑪将来負担比率：地方債残高のほか一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の比率
- 注⑫債務負担行為：地方公共団体が建設工事をしたり土地を購入する場合、数年度にわたる債務について契約などで将来の支出を約束するもの。乱用すると将来の財政運営を悪化させる恐れがある



# 税金の減免額は横ばい状態である

## 一般会計

9月18日、平成25年度一般・特別会計決算の質疑・討論をおこないました。その主な内容を要約しお伝えします。

### 歳入

**泉(美)議員** 税金の減免額はいくらか。また、増えているのか。

**税務課長** 町民税は7件で25万8千8百円、固定資産税については182件、1千505万6千円、軽自動車税については、132件で79万2千300円の減免となっている。減免額については、横ばい状態だ。

### 歳出

#### 高齢者福祉は

**熊谷(良)議員** 温泉利用券と、はり・灸・マッサージ助成券の対象者と使用率は。また、はり・灸・マッサージ施術者に対する審査は。

**福祉保健課長** いずれも65歳以上の6895名が対象で、温泉券は3022名に交付し、使用率は50・2%でほぼ横ばい状態である。はり・灸・マッサージ券は1547名に交付し、使用率は16・6%で微

減である。施術者に対しては3年ごとに審査している。

#### 実施は難しい

**泉(美)議員** ごみの量が增えている、減量対策として資源化や細分別が必要なのではないか。

**住民生活課長** ごみ全体量は増えているが資源化率は変わっていない。細分別については大仙・美郷環境事業組合でごみ処理しており、大仙市とも協議を進めなければならず処理方法も変わるため、検



高齢者に親しまれている温泉

討課題ではあるが実施は難しい。

#### 松くい虫防除は

**武藤議員** 松くい虫防除対策の現状と駆除計画は。

**農政課長** 6月に地上散布をした。その後は12月に仏沢公園の松に樹幹注入をしている。樹幹注入の葉効が4年間とされているので、4年に一回の駆除計画を実施していく。

#### 交通量の多い道路を優先

**武藤議員** 道路のライン引きの優先順位や計画は。

**建設課長** 交通量の多い道路が最優先だ。歩道の場合は特に注意をして早めに実施している。

#### 株券所有の取り扱い

**深澤(均)議員** 有価証券の取り扱いと保有状況は。

**総務課長** 秋田放送は68株、東北電力1551株などを所有し、株式の所有は配当金として入ってきているが、合併前の町村で持っていたものが美郷町になってからは新たな所有はない。

#### 不備のないように指導

**泉(美)議員** 監査委員審査意見の中で、補助金について一部団体において内容の精査を欠くものがあったというが、内容と対応は。

**総務課長** 実績報告の不備で、適正な指導をしていく。

#### 一般会計決算認定

##### 反対討論

**泉(美)議員** 依然として厳しい経済状況の下、町民生活向上のための一定の施策の予算執行は認めるものの、地域経済政策効果の高い住宅リフォーム緊急支援事業1戸あたりの助成金が減額されたことや、地方財政抑制のために人件費削減を進めるなど、国の地方財政計画に沿った予算執行であり、賛成できない。

#### 一般会計決算認定

##### 賛成討論

**中村議員** 各般のプロジェクト事業推進や白色ラベンダー「美郷雪華」による特産品の開発、地域活性化の取り組みなど評価すべきものと考える。財政においても経常収支比率や実質公債費比率が改善するなど、財政健全化に向けた取り組みを評価する。

#### 国民健康保険特別会計決算認定

##### 反対討論

**泉(美)議員** 国保税の値上げが行われ、住民からは間違いではないかと役場に問い合わせがあったと聞く。住民の暮らしの大変さから見れば、一般会計から繰り入れをし、負担軽減を図るべきだという立場であり反対する。



松くい虫防除の樹幹注入



## 条例・補正予算質疑

# 小学校全学年を 放課後児童の対象に

今定例会で審議した条例制定、一般会計・特別会計、各補正予算に対しての質疑を要約してお伝えします。

**放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定**

**内容** 対象児童をこれまでの1年生、3年生を6年生まで拡大するものです。

**濫谷議員** 支援の単位と指導員は何名の予定か。また、低学年と高学年が一緒になり、いじめなどの心配はないか。

**教育総務課長** 1単位40名として、現在15名の指導員を予定している。また、いじめなどのないように低学年、高学年を分けて対応する予定だ。

**特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定**

**内容** 待機児童解消のための条例を制定するものです。

**熊谷（良）議員** 現在町内で待機児童はいるか、また、今後利用料金の改正はあるか。

**教育総務課長** 町内には待機児童はいない。また、利用料金の大きな改正はない。

### 一般会計補正予算

#### マイナンバー制度は

**熊谷（隆）議員** マイナンバー制度の内容とメリットは。

**総務課長** 平成27年10月に番号が通知され、平成28年1月から順次利用が始まる。社会補償制度などに使われ、添付書類がいらなくなるなど手続きの簡素化が図られる。

#### 作成の具体は

**深澤（均）議員** 庁舎内案内

看板作成の具体は。

**総務課長** わかりやすい誘導看板をつくるため、業者などから提案していただき、審査の上3月まで完成させたい。

#### 多目的スペースとして活用

**熊谷（良）議員** 湧太郎南側土地購入後の活用は。

**商工観光交流課長** 駐車場やイベントなど多目的スペースとして活用する。

#### 30件分を追加

**熊谷（良）議員** 住宅リフォームの追加内容は。  
**建設課長** 8月末で77件の申し込みがあり、9月以降の見込みとして30件分を追加した。

### 簡易水道事業 特別会計補正予算

#### 広報で周知する

**森元議員** 水道施設工事の内容と、設計管理委託料800万円の減額内訳は。また、関係住民への周知は。

**建設課長** 千畑中央地区簡易水道事業の浄水場、取水施設建設のための工事費で、委託料の減額は一丈木地区に計画していた配水タンク増設計画の見直しによるものだ。工事内容は広報などで周知する。



リフォーム中の住宅

## 第7回 議会臨時会提出議案一覧 (7/17)

- 発議第4号 農業委員会委員の推薦について <賛成16人で原案可決：欠席1人>
- 議案第61号 平成26年度一般会計補正予算第4号 <賛成16人で原案可決：欠席1人>

## 第8回 議会臨時会提出議案一覧 (8/4)

- 議案第62号 工事請負契約の一部変更について <賛成14人で原案可決：欠席3人>
- 議案第63号 平成26年度一般会計補正予算第5号 <賛成14人で原案可決：欠席3人>
- 議案第64号 平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算第3号 <賛成14人で原案可決：欠席3人>

## 第9回 議会定例会提出議案一覧 (9/9~9/19)

- 認定第1号 平成25年度一般会計決算認定について <賛成15人：反対2人で原案承認>
- 認定第2号 平成25年度国民健康保険特別会計決算認定について <賛成15人：反対2人で原案承認>
- 認定第3号 平成25年度簡易水道事業特別会計決算認定について <全員賛成で原案承認>
- 認定第4号 平成25年度下水道事業特別会計決算認定について <全員賛成で原案承認>
- 認定第5号 平成25年度農業集落排水事業特別会計決算認定について <全員賛成で原案承認>
- 認定第6号 平成25年度後期高齢者医療特別会計決算認定について <全員賛成で原案承認>
- 議案第65号 工事請負契約の締結について <全員賛成で原案承認>
- 議案第66号 過疎地域自立促進計画の一部変更について <全員賛成で原案承認>
- 議案第67号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について <全員賛成で原案承認>
- 議案第68号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について <全員賛成で原案承認>
- 議案第69号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について <全員賛成で原案承認>
- 議案第70号 宿泊交流館の設置及び管理に関する条例の制定について <全員賛成で原案承認>
- 議案第71号 屋内スポーツ館の設置及び管理に関する条例の制定について <全員賛成で原案承認>
- 議案第72号 特定地区公園条例の一部改正について <全員賛成で原案承認>
- 議案第73号 平成26年度一般会計補正予算第6号 <全員賛成で原案承認>
- 議案第74号 平成26年度国民健康保険特別会計補正予算第2号 <全員賛成で原案承認>
- 議案第75号 平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算第4号 <全員賛成で原案承認>
- 議案第76号 平成26年度下水道事業特別会計補正予算第2号 <全員賛成で原案承認>
- 議案第77号 平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算第2号 <全員賛成で原案承認>
- 議案第78号 平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算第2号 <全員賛成で原案承認>

## 議案採決結果

採決で賛否が分かれた議案を掲載しています。この他は、全員賛成で可決しました。

議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
議員名	濫谷 俊二	鈴木 良勝	伊藤 福章	中村美智男	村田 薫	泉 繁夫	深澤 均	武藤 威	泉 美和子	細井 邦男	熊谷 隆一	藤原 政春	飛澤龍石工門	森元 淑雄	熊谷 良夫	杉澤 隆一	深沢 義一	高橋 猛		
◎平成26年第9回議会定例会																				
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



# 学校教育にかける思いは

## 教育長「将来の町を担ってくれる子どもの育成を」

一般  
質問

# 2議員が 6項目を質す

ただ

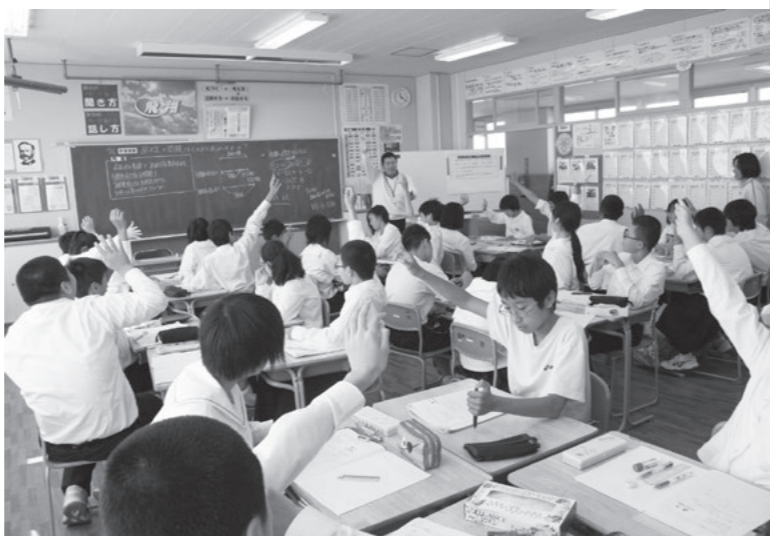
**質問者**

**深澤 均 議員**

- ◇美郷町の教育について ……掲載
- ◇美郷町の農業について ……掲載
- ◆安全・安心な町づくりについて  
質問) 町内で緊急車両の入れない狭小な町道について、その実態と施策は。  
町長) 道路幅員が整備基準以下の狭隘な未整備町道は33路線であり、整備基準に基づき順次整備していく。

**泉 美和子 議員**

- ◇農業問題について ……掲載
- ◇ロタウイルスワクチン接種費用の助成を ……掲載
- ◆子ども・子育て支援新制度について  
質問) 保育料について、町独自軽減措置の維持、保育料の上乗せ徴収をしないことを求める。  
教育長) 保護者の負担軽減から町独自の上乗せ補助を当面継続する。オプション保育の保育料上乗せについては現在のところ考えていない。



美郷中学校 授業風景

**議員** 美郷町の教育についてうかがう。

①全国学力テストの結果について、公表や分析・課題への取り組みは。

②学校教育について教育長の抱負は。

**教育長** ①昨年度は、学校によって違いがあったので、今年度は分析終了後、速やかに公表し個人表を配布することにした。また、全国や県の結果と比較し、成果や課題を把

握して授業の改善に生かしている。

②自立して生きていける一人前の大人に成長させるために幼児、小学校、中学校教育がどのようにあれば良いか、次の6点を重視して取り組んでいきたいと考えている。

一、知・徳・体をバランスよく育成する。  
二、熱中して取り組む体験の多い子どもになることを目指す。

### 美郷町農業の最優先課題は

- 三、体験的活動やさまざまな人との交流を推進する。
  - 四、ふるさと学習の充実を推進する。
  - 五、スマートフォンなどの安全で適切な使用について指導を充実させる。
  - 六、こども園、小学校、中学校の連携を大切にする。
- このようなことに力をいれ、ふるさとを愛し誇りに思い、将来の町を内外から担ってくれる子どもの育成を目指していきたい。

**議員** 農業は町の基幹産業であり、なかでも米づくりはその中心的役割を果たしてきたが、今年の概算金は過去最低となり、その影響は地域の担い手である認定農業者ほど大きい。さらに、減反廃止やTPP問題などにより厳しい経営が予測されるが、町の農業の最優先課題にどう取り組むのかうかがう。

**町長** 規模拡大、付加価値農産物生産、作目複合化、新規就農者の確保、すべての項目がそれぞれ関連しており、序列化した整理ではなく横一線の最優先課題と認識している。今後、国や県の施策を総合的に俯瞰し、それに町独自の施策を追加していく意識で引き続き取り組んでいく。



深澤 均 議員



# 農家不安への対応は

## 町長 「速やかな補填を要望」



爽りの秋を迎えて・・・

議員 農業問題についてうかがう。

①政府は「農業委員会・農業生産法人・農業協同組合」の3点の改革を行うことを表明した。農業への企業進出を最優先し、家族農業中心の農政のあり方を、根本から覆す内容だ。この改革についての見解は。

②本年産あきたこまちの概算金が1等米60kg当たり、8千500円と決まり前年より3000円低い過去最低額となったことで、農家に大きな不安が広がっている。米価暴落による町の影響額はどれくらいか。また、国に対し緊急の過剰米処理を行い、価格安定を図るよう求めるべきと思うが。

町長 ①議員が指摘された3

点に加え、すでに動き出している農地中間管理機構の創設があり、その状況を把握すると、企業進出を最優先し、家族中心の営農スタイルを根本から覆す内容とはなっていないと思われる。また、指摘の3点は、まだ法案化されていないので具体的な影響を現時点で論ずることは出来ないが、断片的に伝わってくる内容からすると、議員発言のような方向で取り進む内容ではないと理解している。

②米価暴落の影響額は前年産と比較し10億5千万円減少すると試算している。しかし、国では収入減少による農業経営への影響を緩和するた

め、「ならし対策」と、「円滑化対策」が制度化されており、それらが補填されれば実質4億円ほどの減少となる。目先の米価調整のためだけに過剰米処理を要望していくことは、猫の目農政の肯定につながりかねない。まずは「ならし対策」の補填が速やかに実施されるよう要望していきたい。

### ロタワクチン接種費用の助成を

議員 小児の感染症予防対策としてロタウイルス胃腸炎予防ワクチン接種費用の助成をすべきと思うが、見解をうかがう。

町長 県内で助成している自



泉 美和子 議員

治体は、3市町村で、全国でも100程度と聞いている。こうしたことを踏まえると、町としてはロタワクチン助成を検討する状況にはないものと判断し、まずは国の動向を注視し、また町内医療機関からも意見を聞くなど情報収集につとめる。

### 第7回臨時会 仙南小学校の屋外教育 環境整備費などを追加

7月17日、第7回臨時会を開催し、町農業委員会委員の改選に伴い、議会推薦の農業委員として井関一良氏（扇田）を推薦、全会一致で可決しました。

また、平成26年度一般会計補正予算を審議し原案を全会一致で可決しました。主な内容は、JALホームページ掲載事業負担金や豪雪によるニテコ名水庵蔵部分の屋根修繕費、仙南小学校の屋外教育環境整備費、秋田25市町村対抗駅伝実行委員会への補助金などの追加で、平成26年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれに1499万4千円を追加して総額を113億3083万9千円としました。

### 第8回臨時会 秋田県消防操法大会 出場経費などを追加

8月4日、第8回臨時会を開催し、千畑中央地区簡易水道浄水施設築造工事の契約金額を増額しました。

また、平成26年度一般会計補正予算を審議し原案を全会一致で可決しました。主な内容は、町消防団の秋田県消防操法大会出場経費、六郷東根運動広場の松くい虫処理経費などの追加で、平成26年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれに167万2千円を追加して総額を113億3251万1千円としました。

## 請願・陳情

不採択としました

◇陳情第9号 消費税10%への引き上げの中止を求める意見書の提出についての陳情  
秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲  
(採択5人：不採択11人：保留1人)

### 採決結果

議長は採決には加わりません。

○：採択 ●：不採択 一：保留

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果
議員名	澁谷 俊二	鈴木 良勝	伊藤 福章	中村美智男	村田 薫	泉 繁夫	深澤 均	武藤 威	泉 美和子	細井 邦男	熊谷 隆一	藤原 政春	飛澤龍石工門	森元 淑雄	熊谷 良夫	杉澤 隆一	深沢 義一	高橋 猛	
陳情第9号	一	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●		可決

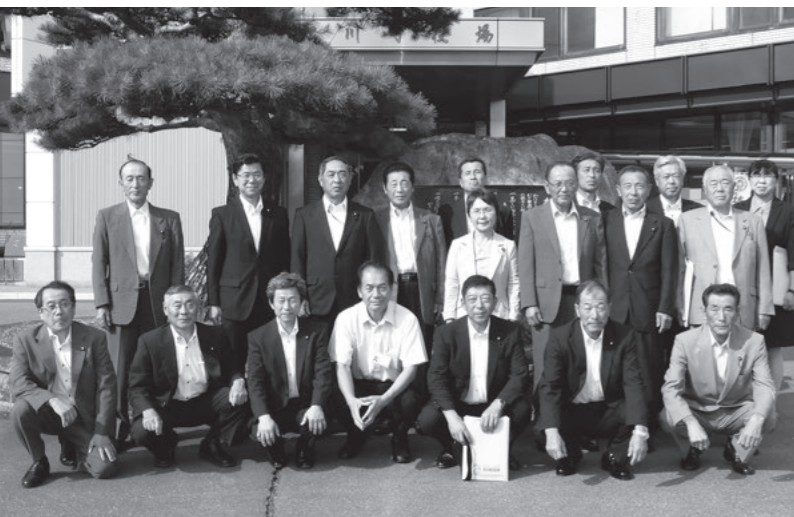
### 〈採択意見〉

泉（美）議員 4月からの消費税の増税で私たちの暮らしはますます大変になっていく。円安により物価は上昇し、実質賃金は下がりが、消費が減少する悪循環に陥っている。さらに10%に上げたアベノ不況となってしまう。住民の暮らしと地域経済を守るため、増税中止の声を上げることが重要になっていく。法的にも経済状況の好転がない場合は増税しないと定めている。是非採択をして意見書を提出するべきだ。

### 〈総務常任委員長報告〉

中村委員長 消費税10%引き上げは、景気の動向を判断し決定することが法律で決まっている。社会保障費の財源確保からやむを得ず、不採択とする。





松川町庁舎前にて

研修3日目は、「儲かる農業を多くの人と地域に普及させよう」の経営理念のもと農業従事者の人材育成も行っている、長野県の(有)トップリバーを視察しました。

産地や農家と契約栽培した野菜の7割を外食・中食の事業者に契約販売し利益の体系を作り上げ、それをオンラインにして普及にも努めています。そして全国から新規就農者を募り、時代に合った農業経営やマネージメントを実践できる人材の育成にも取り組んでいました。

社長との質疑では、美郷町の農業にも触れ、米偏重から早期脱却し、売上1千万円をイメージして取り組むように



(有)トップリバーのレタス栽培

ない健康管理をゲーム感覚で参加出来るようにし継続性をもたせる素晴らしいアイデアと感心しました。

②定住対策・人口増加対策  
空き家情報の提供を行ない、購入した場合はリフォーム費用を上限20万円まで補助する制度や土地を取得し住宅を新築すると、3年間固定資産税を軽減をしていました。空き家を他人に貸している場合、住民税は非課税とし、固定資

産税を減額するなどの取り組みも行なっていました。また、町内企業と連携し、無料職業紹介所を開設し定住を後押ししているのも特徴のひとつで、教育現場では、子どもたちが将来帰ってきたくなるふるさと教育の充実も図っていました。

③少子化対策  
結婚支援として、社会協議会に事務を委託し、結婚相談業務を行なっていました。ま

## 人材育成と儲かる農業

た、商工会、消防団、住民有志による婚活イベントを開催し、町ぐるみで結婚の後押しをしていました。その他、町では結婚祝い金制度、不妊治

療費50万円まで補助、高校生までの医療費無料化などを行なっていました。

長野県 御代田町

とのアドバイスもいただき、今後の農業経営の在り方につながる有意義な研修でした。

## 行政視察研修

町議会では、7月1日から3日まで行政視察を行いました。その内容を報告します。

## 空き校舎の活用を学ぶ

新潟県 上越市



元職員室での研修

研修1日目、新潟県上越市宿泊体験交流施設「月影の郷」を研修しました。この施設は、明治7年開校の歴史ある月影小学校を閉校し平成17年6月にオープンしました。利用状況は、設立に協力支援をいただいた都内の四大学「法

政・早稲田・日本女子・明治」卒業論文ゼミナールの開催や「越後田舎体験事業の食、工芸、農業、自然体験」での小中学生・高校生・大学生の受け入れやジュニア系のスポーツ合宿等が主なものでした。町でも、学校再編が完了し

空き校舎を活用しての宿泊交流施設の建設が進む中、参考になりました。

## 定住対策・人口増・少子化対策を学ぶ

長野県 松川町

2日目は、長寿日本一、長野県南部、松川町を訪ね、以下の3点について研修をしました。

### ①医療費抑制の取り組み

生涯にわたる健康状態の追跡、指導を行なっているのが特徴的で、当町も取り組みを始めたセルフケアに早くから取り組み、どの年代の時にどのような異変があったかなどを客観的に見える表を作成し、一貫した健康相談ができるシステムを構築していました。また、健康診断の結果を症状によって分類し、個別相談の

次に、健康ポイントを買って買える「まつかわ健やかマイレージ」事業を行なっていました。各自が1日5000歩以上歩く、1日3食決まった時間に食べる、毎日体重(血圧)を計るなど自分に合った毎日の目標を設定し、4週間分のポイントの合計数によって商店街発行のお買い物ポイントと交換できる仕組みで、なかなか長続きし



# ご参加ください 第12回「住民と議会との懇談会」を開催

町議会では、本会議の内容や議会活動の状況などを町民の皆さんに報告・説明し、議会に対する意見や要望をお聴きする機会として「住民と議会との懇談会」を開催します。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

日時	地区	行政区	会場	担当班
10月29日(水) 午後7時00分～ 午後8時30分	千畑地区	土崎北部(飛沢)	飛沢会館	1班
		上畑屋	上畑屋コミュニティセンター	2班
		元本堂南部(荒井)	荒井会館	3班
10月30日(木) 午後7時00分～ 午後8時30分	仙南地区	八卦・熊堂	八卦会館	1班
		扇田	扇田生活総合センター	2班
		寺田・長岡森	寺田会館	3班
10月31日(金) 午後7時00分～ 午後8時30分	六郷地区	琴平	鍵田コミュニティセンター (旧いきいき館)	1班
		本道町	下本道会館	2班
		四ッ屋	四ッ屋会館	3班

1班	2班	3班
深澤 均 泉 美和子 藤原 政春 森元 淑雄 熊谷 良夫 深沢 義一	澁谷 俊二 鈴木 良勝 泉 繁夫 細井 邦男 熊谷 隆一 高橋 猛	伊藤 福章 中村美智男 村田 薫 武藤 威 飛澤龍右エ門 杉澤 隆一

## みさと議会だより 第40号 クイズ 回答と当選者

### ★クイズ回答

【問1】セルフメディケーションによる〇〇〇〇への取り組み。

→ 【回答】健康長寿

【問2】ラベンダーの〇〇で造られた純米酒。

→ 【回答】酵母

◎クイズ当選者 抽選の結果、次の方が当選しました。

坂本 堅悦様 武藤 憲子様  
坂本 禮子様



## 就任

秋田県町村議会議長会の前会長退任に伴い、7月22日の理事会において、当月22日の任期満了に伴い、高橋 猛氏が新任議長に選任されました。任期は前任者の残任期間となる平成27年5月16日までとなります。

# 研修会報告

## 2市1町研修会～美郷町～

### 東北農政局長 佐々木康雄氏 講演 (六郷東根出身)

7月17日、大仙市、仙北市、美郷町の議会議員交流会が役場大会議室で行なわれました。交流会では講師に当町出身の東北農政局長佐々木康雄氏から「農政の展開方向について」の演題で講演をいただきました。

7月23日、羽後町、東成瀬村、美郷町の県南3カ町村の議会議員連絡協議会が、羽後町役場で開かれました。協議会では、秋田県総務部財政課長の光永祐子氏から「時代の潮流への挑戦」をテーマに人口減少社会や国の農政改革への対応について講演



講師の佐々木康雄氏

### 県南3カ町村研修会 (羽後町)

8月8日、秋田市において県町村議会議員研修会が行なわれました。議員研修会では、明治大学の牛山久仁彦氏から「これからの町村議会のあり方」の演題でご講演いただきました。議会改革について幅広く話され、最後に出席議員からは若い議員の育成に選挙費用の公費支出について質問が出るなど活発な内容でした。

### 県町村議会議員研修会 (秋田市)

をいただきました。人口減少の激しい中でも農業を産業として強くし、農地の多面的機能を維持し、今後10年間で所得を倍増させることを目指すという力強い講演でありました。



講師の田崎史郎氏

ぶお話を聞くことができ有意義な内容でした。議会広報研修会では、日本広報学会の芳野政明氏を講師に迎え「読まれ、親しまれ、議会活動が伝わる広報づくり」のポイントを詳しく教えていただきました。当町の「みさと議会だより」については高い評価を受けました。





# シリーズ キラリ美郷人 vol.36

## 速攻プレイヤーを目指して!



後列右端が加藤選手

秋田銀行バスケットボール部  
(15番 身長: 171cm)

### 加藤三津子さん(石神)

私は小学校3年生からバスケットボールを始め、中学校2年生の時に秋田選抜に入り、県のトップクラスの方々と一緒にプレーをする機会がありました。湯沢翔北高校に進学しました。

高校では県優勝、インターハイ、ウインターカップに出場しました。そのような環境の中で自

分は大学進学を希望していましたが、先生から「実業団トップクラスの秋田銀行は」と進められ入社しました。

今年で2年目になります。入社した年の最後の試合で、全国制覇しました。仕事とバスケットボールとの両立が難しく、実業団というレベルについていくのがやっとです。しかし、そういった環境でプレーすることで、自分の知らないバスケットボールを学ぶことが出来ました。私は今、

怪我をしてチーム練習に加わっていませんが、一日も早く復帰し、練習時間の少ない中で少しでも早くチームに貢献できるように頑張りたいと思います。

自分の目標は、走るバスケ、先頭を走れる速攻のプレイヤーになることです。

仕事が終わる次第すぐ練習とのこと、忙しい仕事の合間に熱く語ってくれました。

## ? クイズ

問1 第12回住民と議会との懇談会は  
10月〇・〇・〇日

問2 平成25年度決算での実質公債  
費比率は〇〇.〇%

..... 〇に入る数字をお答えください .....

応募方法/ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3人の方に粗品を差し上げます。  
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先/ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10  
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日/ 平成26年11月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、12月上旬を予定しています。  
傍聴をお待ちしております。

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)  
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。